北海道余市町における基本計画の概要

計画のポイント

余市町は、農業が基幹産業であり、りんご、ぶどうの生産量は道内1位である。また、漁業について、年間漁獲量は2,712トン（平成28年）に上り、後志総合振興局管内における全漁獲量の1割を占めている。こうした豊富な農水産物を背景に、食料品製造業が盛んであり、余市町の製造業の付加価値額の76%を稼いでいる。また、観光資源としてはワイナリーが10件（全道のワイナリーの約1/3）集積しているほか、ニッカウヰスキー余市蒸溜所や観光農園など、基幹産業である農業に関係する資源が豊富である。

こうした地域特性を踏まえ、農業・漁業をはじめとする第一次産業から生産された素材を活用し、付加価値の高い地域産品の生産を推進する。また、豊富な観光資源と、これら地域産品の連携による新たな観光メニューの開発等により、観光客数の増大と需要喚起を図り、地域経済の活性化を目指す。

促進区域

北海道余市町

経済的効果の目標

・1件あたり平均40百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を2件創出。
・これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.42倍の波及効果を与え、**促進区域で114百万円の付加価値額を創出**することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件１：地域の特性を活用すること（①②のいずれか）】

①余市町のりんご、ぶどう等の特産物を活用した**食料品製造関連分野**

②余市町のワイナリー等の観光資源を活用した**観光関連分野**

【要件２：高い付加価値を創出すること】

・付加価値増加分：3,920万円超

【要件３：いずれかの経済的効果が見込まれること】

①売上：5%増加　　②雇用者数：1人以上増加

制度・事業環境の整備

・不動産取得税・固定資産税の減免措置
・地方創生関係施策
・事業者からの事業環境整備の提案への対応
・域内の事業者における円滑な事業承継の支援

《促進区域図》

地域経済牽引支援機関

・余市商工会議所

・(一社)余市観光協会

・北海道信用金庫、(株)北洋銀行　等

計画期間

計画同意の日から令和５年度末日、または新基本方針に基づいて令和５年度末日までに改めて新基本計画を作成する場合は、当該新基本計画の同意日の前日のいずれか早い日まで